

Global X ETF サーベイ: 電気自動車と一般消費者

GLOBAL X リサーチは2022年11月に、米国の個人321名を対象として、電気自動車 (EV) に関する経験と関心について調査を実施しました。この調査の目的は、EV が一般消費者にどの程度普及しているかを測定すること、およびEV が世界に与える影響を一般消費者がどう捉えているかを理解することにあります。調査の項目は、EV の奨励策に対する認知度や、政府レベルの投資によりEV 業界の振興を図る必要性など多岐にわたりました。

重要なポイント

- 調査対象である321名のうち約75%が、EV の購入に関心があるか、またはEV を既に購入しています。
- 親類や友人・知人などがEV を所有している回答者は全体の半数以上であり、そのうち35%がEV を過去に所有していたか、または現在所有しています。
- EV の好ましい特徴に順位をつけてもらう質問では、回答者の38%が、EV を購入したくなるような特徴として、ガソリン車の給油に比べて充電費用が安い点を最も高く評価しました。
- 充電について回答者が期待する項目の上位2つは、自宅で充電できることと、公共の無料充電設備でした。
- 回答者の60%が、EV の購入やリースに関して、最大の問題点は購入価格だと感じています。
- 回答者の約50%が、よく利用されている現行のEV 奨励策の多くについて全く知識がありません。
- 回答者の70%近くが、地球温暖化の問題は自分にとって少なくともある程度は重要だと感じています。回答者の3分の2が、環境上の理由から公共交通機関を利用する米国人は全体の10%以上だと考えています。
- 回答者の50%以上が、EV の利用が拡大すると気候状態や大気汚染による影響を与えるという考えに「同意する」または「強く同意する」と答えています。

- メーカー側が EV にもっと時間やリソースを投入すべきだという考えには、回答者の半数が賛成しています。
- 半数を超える回答者が、政府は EV 業界の発展にもっと関与すべきだと考えています。

電気自動車と一般消費者に関する Global X ETF サーベイをダウンロードするには[こちら](#)をクリックしてください。